

温かく見守ってくださってありがとうございます!



小学校低学年
高砂神社の夏祭りにて。



大学生
敷津浦地域在住
近藤 雅士さん

幼稚園から水泳を続けています。大学ではスポーツマネジメントを専攻し、スポーツ産業の経営や企画、管理などを学んでいます。
A1. 大きな節目だと思っています。大人として、責任が重くなるという感覚がありますね。
A2. 高校生の時、バタフライで近畿大会に出場したことも。将来は育成する側で関わりたいと思っています。人を支える方が向いていると思うので、コーチになってオリンピック選手を育てたいです。
A3. 母親が青少年指導員をしていたこともあり、地域の人は、顔見知りの人ばかりで、周りに見守ってもらいました。ありがたかったので、自分も同じように、地域に貢献したいと思っています。



生後4か月ごろ。
自宅で。



専門学校生
粉浜地域在住
橋本 優芽さん

中学生から建築に興味を持ち、高校は工業科のある学校に進学しました。現在は専門学校でさらに詳しく学んでいます。
A1. お酒を飲めるようになった(笑)。お酒の席を通じて、建築関係をはじめ色々な人との出会いが増えました。
A2. ものづくりが好きなんです。将来は設計関係に携りたいと思います。
A3. 学校の授業で遅くなったら、「遅くにウロウロしていた」と親に伝わっていました。家族のようになりと見守っていただけありがたいです。ただ、できればその時声をかけていただけると「学校で...」と言いつづけるのですが(笑)。



生後1か月ごろ。生まれたときの
体重は1,439gでした。



専門学校生
清江地域在住
伊藤 宏起さん

専門学校でホテルマンをめざして接客やマーケティングを勉強中です! 小さく生まれましたが、部活で鍛えられたおかげで元気に大きくなりました。
A1. 何事にもひとつひとつ努力して、やっていきたいです。
A2. テレビでホテルマンの姿をみて、カッコいいなと憧れました。その夢は実現に向かっていっていると感じています。10年後は自分が働くホテル内で部門トップになっていきたいです。
A3. 真住中学校時代は陸上競技部でした。ものすごく練習が厳しかったけどがんばりました。それが自分にとって自信になっています。顧問の先生はむちゃくちゃいい先生で、本当に感謝しています。

2012.10
ノーベル生理学・医学賞を山中伸弥教授が受賞

2010.6
小惑星探査機はやぶさ帰還

For the future
(2018~)

高校生時代
(2013~2016)

中学校時代
(2010~2013)

小学校時代
(2004~2010)

2018 2017 2016 2015 2014 2013 2012 2011 2010 2009 2008

2016.6
18歳選挙権施行

2011.3.11
東日本大震災

未来へはばたく きみたちへ

区PTA協議会会長・敷津浦校下青少年指導員

43歳
敷津浦地域在住
西尾 佳紀さん



A1. 高崎神社の布団太鼓を担いだことがキッカケで、青少年指導員に誘われました。知らないおっちゃんに怒られる、知らない子でも怒れる、みんな育てる、そんな地域にしたいですね。
A2. 青少年指導員として最初に成人式に関わったときですね。自分の成人式の時はずっとだったので、派手な羽織袴は少し力チャージショックでした。
A3. 間違っていたなぞと。二十歳の頃に思い描いていた自分になれていると思っています。新成人の皆さんには、「自分に自信を持って、前を向いて一歩ずつ進んでください。一足飛びに行こうとしても必ずつまづく時がくる。ゴールではなくてプロセスが大事だよ」という言葉を贈ります。

青少年福祉委員

54歳
加賀屋地域在住
杉坂 りつ子さん



A1. 子どもが子ども会に入ると同時にくじ引きでいきなり会長をすること(笑)。子どもたちの喜ぶ顔がやりがいになり、青少年指導員を経て、今は青少年福祉委員をしています。
A2. 具体的なエピソードはないですが、毎年の成人式で地域で育った若者たちの晴れ姿をみることで、小さい頃のイメージが残っているので、こんなに大きくなって...って毎年感慨深いです。
A3. 二十歳の自分には「ほとんどの夢はかなったよ」と言いたい(笑)。「正義・誠実・勇気・希望」を心に留めやってきたのがよかったのかなと思います。新成人には、「ネット社会だけど、現実の人と交わることを忘れちゃだめだよ」と伝えたいですね。思いやりが大事だから。

青少年福祉委員

60歳
南港緑地域在住
尾田 祥子さん



A1. 子どもも役員、青少年指導員を経て、今は青少年福祉委員をしています。
A2. 中学生対象のさざびー音楽祭出場から、成人も参加するユースライフコンサートを卒業するまで、同じ子どもたちを23年間見守ってきました。最後だからおばちゃんいっしょに写真撮ってと言われた時は本当に嬉しかったですね。
A3. 「もうちょっと周りに感謝の気持ちを持ちなさい」でしようか。若さゆえのおごりがあつたかなと今振り返って思うので、なんでも自分一人ですべてできていると思っていた。今の子どもは自分の若い頃よりずっと大変。うまくいかないことを周りの責任にしたいことも多いけど、周りに感謝の気持ちを持つことは大切よと言ってあげたいです。